

活用事例	① 授業中に地震が発生した場合の避難訓練 【特色】自らの命を守るための基礎的な行動の徹底		
学校名	県立豊北高等学校		
日時	平成25年12月5日(木) 3時間目		
場所	運動場及び校舎内	参加者	生徒・教職員及び消防署職員

1 訓練のねらい

- (1) 地震及び地震による火災に対する避難訓練を通して、自分の身を守るための基本的な行動ができているか、また、避難経路の安全を確認しながら、避難場所まで整然と避難ができるかどうかを検証する。さらに、点呼の方法等についても確認する。
- (2) 洪水についての防災学習を行い、洪水の危険性の認識及びその場に応じた確かな判断、行動する力を養う。

2 訓練の概要

- (1) 地震発生および出火放送の放送 **10:50**

訓練 訓練 ただいま地震速報を受信しました。安全を確保しつつ待機してください。

現場確認中なので、次の連絡があるまで静かに待機してください。

訓練 訓練 調理教室で火災が発生しました。全校生徒は直ちにグラウンドに避難してください。



放送による出火場所等の連絡・指示を聞く生徒

- ・揺れが収まるまで、安全を確保し待機。
- ・調理室より出火。
- ・事務室より119番訓練火災通報。

- (2) 避難開始 **10:53頃**

○ 放送後、避難コースにしたがって行動

基本的な避難の仕方の約束事の徹底

お：おさない
は：はしらない
し：しゃべらない
も：もどらない



放送の指示によりグラウンドに避難している生徒

- (3) グラウンドに避難完了 **10:57**

○ 朝礼隊形で整列
○ 委員長・副委員長が点呼
○ 本部に連絡



本部への連絡は、迅速に完了

- (4) 防火管理者講評 **11:03**

○ 避難訓練の評価と災害時に対する心構えについて講評

- (5) 消防署職員講評 **11:05**
「災害は、いつ起こるか分からない。常に真剣に訓練に取り組んでほしい。」



消防署職員の講評を真剣に聴く生徒

- (6) 消火器の取り扱い方 **11:08**
○ 消防署職員の指示により消火器を使用



消火器係が消火器を使って消火訓練

- (7) 体育館へ移動 **11:15**

- (8) 防災学習 **11:20~11:40**
○ 教頭より、洪水に関する防災学習を実施
○ 洪水の危険性の認識、速やかな避難について、防災マップや下関市洪水ハザードマップを使用して説明



防災マップについての説明を聴く生徒たち

3 訓練の成果と課題

【成果】

- ◇ 通常の避難訓練では、安全かつ迅速な避難ができるようになった。
- ◇ 生徒の意識も高まり、避難時の約束事も徹底されるようになった。
- ◇ 防災学習により、自然災害に対する心構えを学習し、生徒の防災意識が高まった。

【課題】

- ◆ いろいろな場面を想定した避難訓練を行い、様々な状況の中での緊急時の行動の仕方を身に付けさせる。
- ◆ 訓練に慣れることで、真剣味に欠ける生徒の行動が表れることがあるので、訓練であっても真剣さを失わないよう指導していきたい。
- ◆ 危険予測学習等により、更に危険予測・回避能力の育成を図る。
- ◆ 事前の備えや災害時の支援について考えさせ、積極的に地域防災や災害時の支援活動に取り組める資質や能力を養う。
- ◆ 教職員の危機対応力の更なる強化を図る。



消防署のみなさん、ありがとうございました